



第88回日本臨床外科学会学術集会

学術ハンズオンセミナー 2

日時 2026年**11**月**27**日(金) 16:30~18:30

会場 シーガイアコンベンションセンター2F(アトリウム)

定員 8名(※定員決定は先着順とさせていただきます。)

TAPP 法・リヒテンシュタイン法ハンズオンセミナー 術式の理解から適正なデバイス使用まで学ぶ

腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)と鼠径部切開法(リヒテンシュタイン法)は標準術式として広く普及しておりますが、両術式のさらなる安全な普及とデバイスの適正な使用を目的とし、ヘルニアモデルを用いたハンズオンセミナーを開催いたします。両術式のエキスパートから基本手技、豊富な経験から得た知見などを学んでいただく機会となれば幸いです。

これから鼠径ヘルニア修復術をはじめられる先生、経験の少ない先生、改めて基本から学びたい先生など、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

●講師 1

諏訪 勝仁 先生

東京慈恵会医科大学 西部医療センター



●講師 2

進 誠也 先生

光晴会病院



●講師 3

辛島 龍一 先生

済生会熊本病院



●講師 4

林 知実 先生

霧島市立医師会医療センター



共催：第88回日本臨床外科学会学術集会
株式会社メディコン



BD and the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2026 BD. All rights reserved.